

# 平成 24 年度の予算

平成 24 年度予算をお知らせします

\* 当初予算合計 \*

**577 億 480 万円** 前年度対比 +0.3%

一般会計 346 億円 (前年度対比△0.6%)  
 特別会計 188 億 1,480 万円 (前年度対比+4.6%)  
 公営企業会計 42 億 9,000 万円 (前年度対比△9.5%)

特集  
 まちのお金の使い方



平成24年度は「安全な暮らし」をテーマに丹波市の未来をデザインします

平成24年度当初予算は、一般会計が346億円となり、前年度対比0.6%の減少、また、特別会計と企業会計を加えた全会計では、577億4800万円、前年度対比0.3%の増加となりました。

これらの予算を基に、平成24年度は施政のテーマを「安全な暮らし」として、中長期的な展望に立ち、「安心社会をデザインするまち」「情報発信をデザインするまち」「循環型社会をデザインするまち」の3つの柱により、丹波市の未来をデザインします。

## ② 特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です。

(単位：万円)

| 会計別              | 主な使い道                    | 予算額       | 増減率   |
|------------------|--------------------------|-----------|-------|
| 国民健康保険特別会計事業勘定   | 国民健康保険加入者を対象とした医療給付      | 763,700   | 5.9   |
| 国民健康保険特別会計直診勘定   | 青垣診療所の運営                 | 21,740    | △8.2  |
| 介護保険特別会計保険事業勘定   | 65歳以上で要介護認定を受けた対象者への介護給付 | 579,300   | 5.2   |
| 介護保険特別会計サービス事業勘定 | 地域包括支援センターの運営            | 6,660     | 21.8  |
| 後期高齢者医療特別会計      | 75歳以上の方を対象とした医療給付        | 80,900    | 11.6  |
| 訪問看護ステーション特別会計   | 在宅介護支援サービスの提供            | 1,760     | 1.1   |
| 下水道特別会計          | 公共下水道や農業集落排水施設の維持管理・建設など | 402,500   | 0.4   |
| 地方卸売市場特別会計       | 卸売市場の改修工事など              | 2,210     | 590.6 |
| 駐車場特別会計          | 月極・一時駐車場施設の管理            | 1,450     | 7.4   |
| 農業共済特別会計(収益的収支)  | 農業共済金、無事戻金の支払いなど         | 21,260    | △2.7  |
| 総合計              |                          | 1,881,480 | 4.6   |

歳入全体に占める自主財源の割合が高いほど、自主性・安定性があるとされています。

**自主財源**  
 市独自の収入 109 億 9,809 万円  
**依存財源**  
 国や県からの補助など 236 億 191 万円

### 課題!

「自主財源」の比率は32%で、中長期的にも市税を中心とした自主財源を増やし、財政基盤を強化する必要があります。

\* 「自主財源」は減額を見込んでいます

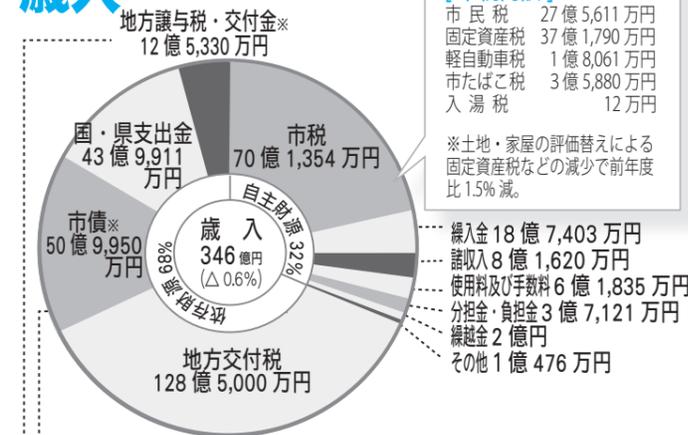


自主財源は、土地・家屋の評価替えによる固定資産税の減少などにより、減額を見込んでいます。

## ① 一般会計 346 億円

前年度比△0.6%  
 福祉や教育、道路整備などにかかる基本的な会計です。

### 歳入



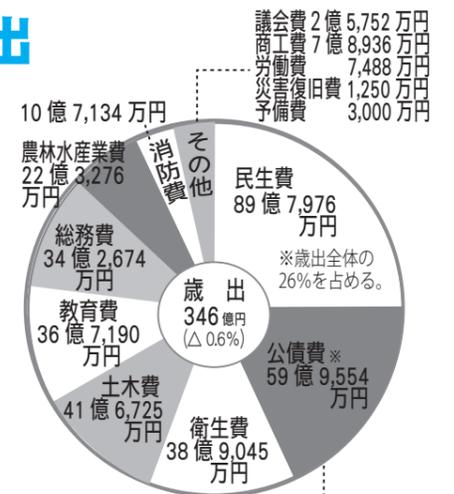
### ※ [地方譲与税・交付金]

地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

### ※ [市債]

道路整備や学校建設など、一度に多くのお金がかかる事業は、その年の収入だけでは賄いきれないので、国や銀行からお金を借りて実施します。このお金を市債といいます。今年度の主な事業として、昨年度に引き続き、一般廃棄物処理施設建設事業、幼保一元化事業などがあります。

### 歳出



### ※ [公債費]

市債(借金)の元金と利子の返済に要するお金。平成13年度から公債費は毎年度増加傾向にありましたが、後年度の返済額の急増を抑えるために、平成17年度から平成23年度にかけて約122億円の繰上償還を実施する見込みです。その結果、公債費は横ばい傾向となりました。

## ③ 企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計です。

(単位：万円)

| 会計名           | 主な使い道                | 予算額     | 増減率   |
|---------------|----------------------|---------|-------|
| 水道事業会計(収益的収支) | 浄水施設などの維持管理・水道施設整備など | 165,000 | △2.1  |
| 水道事業会計(資本的収支) | 施設整備など               | 264,000 | △13.6 |
| 企業会計合計        |                      | 429,000 | △9.5  |

注) 水道事業会計(資本的収支)の予算額は、収入と支出を比較し、多い方で表示しています。

### 「用語解説」

#### ※ 地方交付税

市が一定水準の事務を行うことができるよう、自治体間の税収の差を調整するため国から交付されるお金。使い道は、市の自主性に任されている。

#### ※ 国庫支出金及び県支出金

国や県から交付されるお金。特定の事業などに対して交付されるので、使い道が限定されている。

#### ※ 繰入金

特別会計など一般会計以外の会計から繰り入れるお金や、積み立てた貯金(基金)を取り崩したお金など。

### 「一般会計歳出」

歳出は、前年度対比で0.6%の減少となっています。  
 ※ 議会費 共済費の減額により、前年度対比12.2%の減少となっています。

#### ※ 総務費

JR 駅舎等施設整備事業、市長市議会議員選挙費などの増額により、前年度対比10.5%の増加となっています。

#### ※ 民生費

子ども手当支給事業などが減額されていますが、障害者福祉サービス等給付事業、幼保一元化事業などの増額により、前年度対比3.3%の増加となっています。

#### ※ 衛生費

一般廃棄物処理施設建設事業などの増額により、前年度対比6.5%の増加となっています。

#### ※ 労働費

緊急雇用創出事業などの減額により、前年度対比51.6%の減少となっています。

#### ※ 農林水産業費

木質バイオマス利活用事業などの増額により、前年度対比5.0%の増加となっています。

#### ※ 商工費

企業誘致推進事業の減額により、前年度対比27.5%の減少となっています。

#### ※ 土木費

国庫交付金等道路整備事業、辺地対策道路整備事業や大手会館改修事

予算のテーマは

## 「丹波市をデザインする」

「安心社会をデザインするまち」「情報発信をデザインするまち」「循環型社会をデザインするまち」の3つを柱に、丹波市の未来をデザインします。

**POINT 1**  
We design a peaceful society

**安心社会**  
をデザインする



不安なく、健康で安心して暮らすことのできるまちをデザインします。

**POINT 2**  
We design information

**情報発信**  
をデザインする



さまざまな媒体を通してわかりやすい情報を得ることのできるまちをデザインします。

**POINT 3**  
We design a recycling society

**循環型社会**  
をデザインする



良好な生活環境を保全し、豊かな生活のできるまちをデザインします。

**POINT 1**  
We design a peaceful society

**安心社会**  
をデザインする

**POINT 2**  
We design information

**情報発信**  
をデザインする

**POINT 3**  
We design a recycling society

**循環型社会**  
をデザインする

**新規** 木質バイオマスを活用し資源の循環活用を図ります 予算額 1億 2,017 万円

間伐材などの未利用資源を活用し、資源の循環と効率的な利用を推進します。本年度は、青垣総合運動公園（グリーンベル青垣）に木質チップボイラーを設置します。  
農林整備課 ☎ 74 - 1707

**新規** 太陽光発電・太陽熱利用システムの導入に対して補助します 予算額 540 万円

太陽エネルギーの普及、「環境」と「経済」の調和した好循環社会を推進するため、太陽光発電・太陽熱利用システムの導入に係る経費の一部を補助します。  
※詳しくは、今月号の P 9 をご覧ください。  
環境政策課 ☎ 82 - 1290

**継続** 資源循環型社会の構築をめざして一般廃棄物処理施設の建設を進めます 予算額 5 億 6,372 万円

新しいごみ処理施設で一体的に処理を行うことにより、廃棄物の適正な中間処理とコスト削減を図り、安全・安心な市民生活の確保と資源循環型社会の構築をめざします。  
環境整備課 ☎ 82 - 1292

**継続** 観光客の誘致拡大を図ります 予算額 9,557 万円

テレビ、ラジオなどを活用した観光 PR の他に、新たにフリーペーパーなどの情報誌を作成します。都市部でのキャンペーンや旅行会社等への発信に活用し、観光客の増加をめざします。  
観光振興課 ☎ 74 - 1149

**継続** 雇用奨励補助事業 新産業創造課 ☎ 74 - 1464

市内に工場等を新・増設した企業が、市内在住の方を新たに正社員として 3 人以上雇用した場合や、市内在住の非正規雇用者を正社員に切り替えた場合に補助金を出し、雇用の増進や産業の活性化を図ります。予算額 1,350 万円

**継続** 企業誘致推進事業

企業の用地購入・工場建設費に補助などを行うとともに、経済誌等に企業誘致に関する広告を掲載し、幅広い地域からの企業立地をめざします。予算額 2,985 万円

**新たな取組みをピックアップ**

**新** 『企業展示会への出展支援』 予算額 425 万円  
新たな取引先等を探索するための展示会への出展料を補助することにより、市内企業の販路拡大を支援します。

**継続** 市内の商工業者をサポート 商工振興事業

市内商工業者の経営を直接的、間接的にサポートし、経営の安定化と商工業の振興を図ります。昨年度に続きプレミアム商品券の発行支援も実施！ 予算額 4 億 5,604 万円

**新たな取組みをピックアップ**

**新** 『新規起業支援事業補助金』 予算額 950 万円  
新規起業家への開業支援を行い、商店街などの空き店舗を解消し、賑わいの創出と経済の活性化を図ります。

**新** 『地域資源を活用した新商品 PR 広告料』 予算額 651 万円  
地域資源を活用した新商品の開発を支援するとともに、丹波ブランドとして開発された新商品などを阪神地区を中心に PR します。  
新産業創造課 ☎ 74 - 1464

**新規** 「学校給食運営基本計画」に基づき調理業務の民間委託化をすすめます

今後の学校給食のあり方について方向性を定めた「学校給食運営基本計画」に基づき、平成 25 年 4 月から柏原・氷上学校給食センターの調理業務を民間委託するため、委託業者を選定します。また、施設の集約化に向け、コンテナプールなどの拡張工事実施設計を行います。予算額 954 万円  
学校給食課 ☎ 82 - 4194

**継続** 認定こども園の整備をすすめます 幼保一元化事業

将来的に市内 12 園の認定こども園開園をめざし、新たに施設建設用地の取得などを行います。既に開園している認定こども園の支援も引き続き行います。  
予算額 4 億 6,596 万円 こども育成課 ☎ 70 - 0820

平成 24 年度  
その他の主な事業

「安心な暮らし」をテーマに  
丹波市の未来をデザインします

**【新規事業】** ※カッコ内は予算額

総合計画策定 (784 万円)、子ども・若者育成支援相談業務 (85 万円)、丹波市ホームページリニューアル (1,500 万円)、コミュニティー FM 放送支援事業 (330 万円)、循環型社会づくり啓発事業 (120 万円)、新エネルギー、省エネルギーの推進 (22 万円)、生涯学習施設検討委員会 (103 万円)、連携型中高一貫教育高校バス通学費補助金 (137 万円)、災害支援事業 (100 万円)、JR 駅舎等施設整備 (5,570 万円)、消防庁舎通信指令室増設・訓練塔新設事業 (1,568 万円)、環境学習教材制作事業 (40 万円)、自治基本条例啓発事業 (131 万円)、INAC 神戸レオネッサとの交流事業 (27 万円)、オリジナルナンバープレート作成 (265 万円) など

**継続** 農産物のブランド力向上をめざして丹波市ブランド農産物の生産拡大を支援します

大納言小豆や丹波栗、霧芋などをはじめとする丹波市の特産物の生産振興を支援します。予算額 4,795 万円

**新たな取組みをピックアップ**

**新** 丹波栗の振興『丹波ブランド再生モデル総合対策事業補助金』  
丹波ひかみ農協が実施する新植・剪定・集出荷機械の整備に対し支援を行います。予算額 692 万円

農業振興課 ☎ 74 - 1465

**新規** 少量の水で効果的な消火ができる消防活動車両を購入します

水と消火薬剤を混ぜて泡状の放水をする「圧縮空気泡消火装置（キャプス装置）」を備え、少量の水で消火ができるようにします。また、軽い泡を使用するため、建物などへの水圧による被害の軽減を図ることができます。  
予算額 3,879 万円 消防課 ☎ 72 - 2255

**新規** 丹波市の水道水のおいしさを広く PR します

丹波市の水道水が安心・安全でおいしい水であることを PR するため、ボトルウォーターを製造します。  
予算額 292 万円  
業務課・工務課 ☎ 72 - 0605

イベントでの無料配布やきき水会（水道水と市販の水の飲み比べ）などの催しを予定しています。

**新規** 障害者就労支援事業

市役所内に障害者の就労支援を包括的に行うセンターを設置し、福祉施設で働く障害者の工賃引き上げと一般就労への移行などをめざします。予算額 236 万円  
生活支援課 ☎ 74 - 0222

**継続** がん検診等推進事業

生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を推進するため、がん検診等の受診を推進します。予算額 8,472 万円

**新たな取組みをピックアップ**

**新** 『がんセット検診』 予算額 270 万円  
40～74 歳までの方を対象に、医療機関で肺がん、胃がん、大腸がん検診をセット受診できるようにします。  
健康課 ☎ 82 - 4567

### 野田首相が県立柏原病院を視察されました。

4月7日(土)、県立柏原病院内の視察後、地域医療の充実や医師不足解消などについて意見交換を行いました。



### 市長からのメッセージ 【こちら市長執務室】



丹波市長 辻 重五郎

「テーマ」 職員への市長訓示  
 行動を率先して実践することです。市では、「ありがとう運動」を展開していますが、先ずは、職員が「ありがとう」の気持ちを伝えることは言うまでもありません。職員が電話に出るときには、「お電話ありがとうございます。」と挨拶をします。△△△と対応するよう指導しているのもその取組みの一つです。また、自動車運転の「朝から点灯運動」が守れているか、地域づくりを率先して実践しているか、地域事業に積極的に参画できているかなど、日常生活においても、

### 「テーマ」 職員への市長訓示

4月2日(月)、午前と午後に分けて職員に市長訓示を行いました。今年度は、新規採用職員10名を採用し、全職員668名体制で新たな年度のスタートを切りました。  
 職員には、緊張感をもって誠実かつ公正・公平に職務を遂行すること、また、市民目線に立ち、市民の気持ちをよく取りながら、誠心誠意きめ細かく対応するよう指示しました。  
 具体的には、1つ目としまして、職員が市民のみなさまの見本とな

と涙ながらにおっしゃったときに、市長としての使命感を肌で感じました。以来、このような大災害が丹波市で起こった場合を想定するなかで、私自身が得た3つの教訓についても職員に伝えました。  
 1点目は、「自然の驚異」です。人間は自然を克服し、利用すると言います。しかし、これはとんでもない思い上がりであります。今後は、自然と共生することを第一に考え、取り組みなければならぬと考えます。  
 2点目は、「絆」です。まさに国

### 「新年度を迎えて」

公務員としての自覚をもって行動することも大変重要であります。職員が、市民の見本となることを楽しんでできることが、理想的な姿であり、求められる職員像であると考えます。  
 次に、2つ目としましては、今年度の施政のテーマである「安心な暮らし」を実現するため、昨年3月11日に発生しました東日本大震災から得た教訓を胸に、職務に励んで欲しいということです。気仙沼市への訪問の際に、菅原市長が「市民の命を守ることが市長の責務です」

を挙げての支援活動が展開されていますが、「がんばろう日本」の合言葉の通り、人と人の強い心の結びつきを大切にすることで、苦難にも立ち向う力が生まれると思います。  
 3点目は、「日常生活を見つめ直す」ことです。東日本大震災は、家族が一緒にいられるという日常を瞬間にして奪い去りました。また、蛇口をひねれば水が出る、スイッチを入れれば電気がつくことも当たり前のことではなくなりました。大震災によって当たり前の生活スタイルも見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。  
 市長訓示を通して、職員としてのあるべき姿を示すとともに、市民のみなさまが安心して暮らすことのできる丹波市の実現に向け、職員が一丸となって職務を遂行するよう指示しました。

市民のみなさまにおかれましては、職員を叱咤激励していただき、また、「安心な暮らし」の実現のため、誠心誠意取り組む所存でありますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### \*市民1人あたりの予算 ※事業費を平成23年12月末時点の住民基本台帳人口に外国人を加えた人口で除しています。

|                                  |                                  |                                 |                                |                                 |                                 |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 交通安全対策に<br>479円<br>(市負担442円)     | 議会運営に<br>3,695円<br>(市負担3,695円)   | 道路や橋に<br>28,120円<br>(市負担9,039円) | 河川整備に<br>3,735円<br>(市負担1,728円) | 商工観光に<br>11,326円<br>(市負担6,050円) | 雇用・労働に<br>1,074円<br>(市負担539円)   |
| 社会福祉に<br>64,169円<br>(市負担46,581円) | 消防活動に<br>15,371円<br>(市負担11,569円) | <b>市民1人あたりの予算はいくら？</b>          |                                | 災害対策に<br>1,237円<br>(市負担844円)    | 支所の管理に<br>9,429円<br>(市負担9,421円) |

### \*対象者1人あたりの予算 ※2010年農林業センサス、平成23年度学校基本調査、学校給食基本調査の資料を基に算出しています。

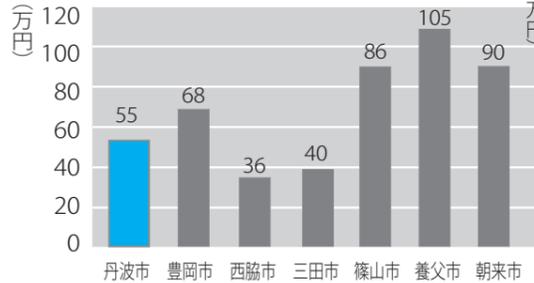
|                                      |                                      |                                      |                                    |                                   |                                   |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 農家(一戸)に<br>296,818円<br>(市負担260,554円) | 学校給食利用者に<br>122,072円<br>(市負担68,789円) | 保育園児に<br>1,264,316円<br>(市負担521,341円) | 幼稚園児に<br>712,210円<br>(市負担618,903円) | 小学生に<br>228,704円<br>(市負担152,725円) | 中学生に<br>172,449円<br>(市負担134,391円) |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

### Q 市の借金(市債)は? 845億円 (H24年度末見込)

**解説** 市債は、地方公共団体が財政上必要とする資金を国や金融機関などから長期にわたって借り入れるお金です。

**分析** 平成24年度末見込みで一般会計372億円、特別会計と公営企業会計(水道事業会計)を含めると全会計の合計は845億円となり、合併後に毎年繰上償還を実施しているため、平成16年度末から216億円減少しています。また、市民1人当たりの平成22年度末市債残高は55万円で、類似団体(平成21年度末45万円)と比較すると10万円上回っており、後世への負担を少しでも軽減するため、繰上償還や地方債残高が増加しないよう発行額の抑制に努める必要があります。

市債残高(平成22年度普通会計決算額)を市民1人あたりに換算して他市と比較

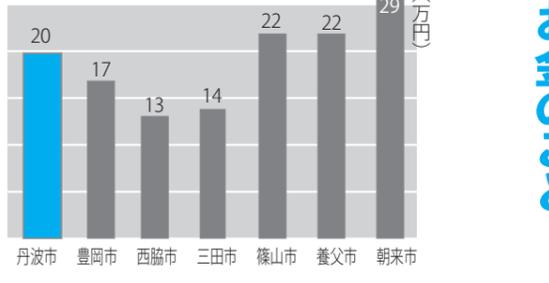


### Q 市の貯金(基金)は? 136億円 (H24年度末見込)

**解説** 基金には、財政を健全に運営するために、年度間の財源を調整する「財政調整基金」と将来の市債の償還(借金返済)に向け計画的に積み立てる「減債基金」、地域づくりや学校整備など特定の事業のために資金を積み立てる「特定目的基金」の3つがあります。

**分析** 合併後、平成17年度から3カ年で、合併特例債(借金)を借りて地域振興基金を40億円積み立てた以降、基金残高は140億円を超えて推移しています。しかし、平成23、24年度は各会計の財源調整や各種事業実施のために基金を取り崩しているため、減少の見込みです。なお、財政調整基金が年々減少していますが、財政規模に対応した基金残高の維持確保が必要です。

基金残高(平成22年度普通会計決算額)を市民1人あたりに換算して他市と比較



「市の財政状況が大変」って言うけど大丈夫? みんなが気になるお金のこと